

【空手道部の活動】

「空手道」と聞いても馴染みのない人も多いと思います。2020年東京オリンピックに正式種目として採用され、最近ではメディアにも取り上げられるようになりました。数年前に小学生の女の子が演舞しているCMを見たことのある人は多いのではないのでしょうか。

空手道には「形」と「組手」があります。「形」とは相手を想定し、突き蹴り受けなどを1人で行う演武です。一方「組手」は実際に相手がいる中で、突きや蹴りなどの技を繰り出しポイントを争います。どちらも明確なルールがあり、そのルールの中で優劣を競い合うこととなります。来年度の東京オリンピックでは新種目として採用され、日本人選手の活躍が期待されています。

現在小諸高校空手道部（1～3年生）には男女12名が在籍しています。その内9名が高校から空手道を始めた生徒達です。空手道部の特徴はとにかくチームワークが良いことです。練習中お互いが直すべき点を指摘し合う姿が見られ、上達する要因の1つに間違いなくチームワークの良さがあります。高校から始めて、早い生徒では2年生秋頃には初段を取得することが出来ます。



本校の道場には「一技万練」という横断幕が貼ってあります。部活Tシャツの背中にも「一技万練」と入れてあります。では「一技万練」とはどのような意味でしょうか。

「一技万練」とは「一つの技を習得するのに万回の鍛錬を必要とする」という直接的な意味と、「万回（多くの時間）を費やしても一つの技を習得できるかどうか分からないのだから、傲慢にならず常に謙虚な気持ちを持って鍛錬に励まなければならない」という自分自身を戒める意味があると考えています。

空手は決して危なくないし、殴り合うわけでもありません。もちろん、突いたり蹴ったりする過程で相手と接触することは避けられませんが、それはしっかりとしたルールに則った上でのことであり、ただ相手を倒したり、まして勝てばいいというものではありません。

本校ではルールを尊重したスポーツとしての「空手」と、礼節を重んじ相手を尊重する武道としての「空手道」の両立を目指し日々活動しています。

《空手道部年間スケジュール》

4月 昇級審査会	11月 北信越新人大会、佐久大会、昇級審査会
5月 東信総合大会、県外遠征	12月 アルプス大会
6月 長野県総体、北信越総体	1月 新年昼食会、県外遠征
8月 1年生大会、昇級審査会、夏季合宿	3月 県内外遠征
10月 東信新人大会、長野県新人大会	